

あゆみ

J C H O
二本松病院

二本松市成田町1-553
TEL.0243-23-1231
FAX.0243-23-5086
http://nihonmatsu.jcho.go.jp
発行者:あゆみ編集委員会

WOCナースによる看護実践研修の実施

当院では、福島県看護協会主催看護力向上支援事業の一環として、「医療機関のニーズに応じた認定看護師等を講師として定期的に派遣し、看護実践能力を高めることを目的として継続的に研修を行っていますのでその一部をご紹介します。

9月のWOCナースセミナー

9月は、オムツの構造と当て方・排泄のアセスメントを行いました。オムツは、自分がパンツを履いているようにスッキリと当てること。まずは、尿取りパッドを男性はカバーオムツの後ろから5横指下に、女性は3横指下にセットし、吸収スポットを尿道口にあて、カバーオムツは縦に折ってソケイ部にギャザーをフィットさせ隙間を作らないようにします。フィットさせたカバーオムツが緩まないように上部の固定テープを仮留めし、下部の固定テープを斜め上向きに留めてから上部の固定テープを斜め下向きに留めてください。斜めに留めることで、患者さんが起き上がった時の、腹部の圧迫が解除されます。



在宅介護にも実践できる内容で、各病棟やコメディカルスタッフの方が大勢参加し、真剣にオムツの当て方を実習しました。普段何気なく患者さんに当てているオムツですが、実際自分が当てられてみて、付け心地の善し悪しに気づく事ができた様です。

この体験と知識を活かし、尿の横漏れを防ぎ、患者さんが少しでも心地よくオムツを装着できるように、そして、これからも患者さんの為に技術に磨きをかけ、看護に当たりたいと思います。

褥瘡対策委員会 橋本 淳子

尿取りパッドは、尿を吸収するもので便を吸収する構造にはなっていません。



とても良い感じに当たっているわ…



次回はポジショニングと褥瘡アセスメントを予定しています。

※WOCナースとは、日本看護協会の認定を受けた「皮膚・排泄ケア」の認定看護師

全国介護老人保健施設大会に参加して

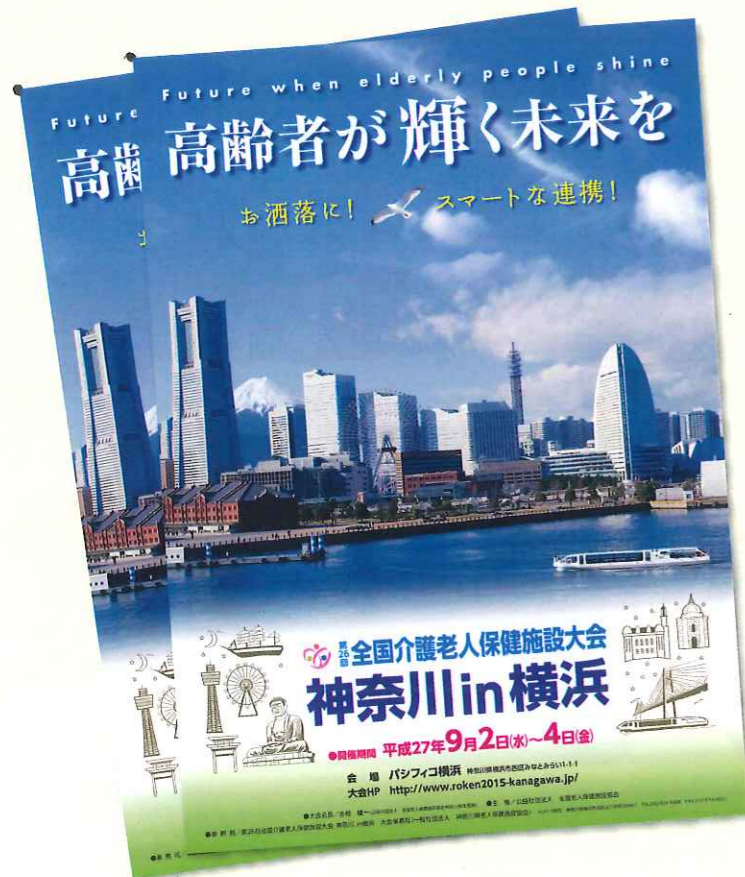
去る9月2日から4日までの3日間、神奈川県のパシフィコ横浜で行われた第26回全国老健大会に参加して来ましたので、その概要を報告します。

大会初日は正午から予定されていた、看取り研修に参加し、日常生活の延長としての看取りを多職種立場から考え、どの様な事を行っているか各研修委員の方達の講義を聞き、「死」と「命の質」とは何かという事か、最期を迎える方へ我々医療・介護に携わる者は何ができるかを考えさせられる講義内容でした。中でも、鶴ヶ島の齋木実医師は、医師という立場から近年、在宅での看取りが注目される中で地域の資源を最大限活用し、ネットワークのリーダーとして究極の緩和ケアを目指し訪問診療・往診を主として行っている事実を聞き、在宅での看取りは推進されているが難しいと感じていた自分の考えが、ネットワークと質の良い資源を活用することで大きく展望が開ける事を知り大変勉強になりました。

二日目、三日目には自分が老健で取り組んでいるリスクマネジメント・感染対策についての演題を主に聞いて回りました。どの老健施設でも高齢者のリスクマネジメントと感染対策は老健という独特の立場や環境から、一律化した行動や対策が立てづらいという声が非常に多く、各施設の研究データは当施設のデータと類似している所もあり、今後こういう大会での研究実績を持ち帰り、広めて行く事が老健の将来の良い変革に繋がり、老健のスタイルは今後も変わって行くべきと感じました。私も院内ミニ学会で発表した、当施設でのリスク対策をデータの修正追加した物を大会で発表し、他の施設関係者へ研究データを伝えられたものと思います。また、他の研究データを持ち帰り、これからは二本松病院附属老健に貢献出来るよう努力したいと考えています。

今回の学会に参加させていただき、関係の皆様へ厚く感謝いたします。

附属老健介護福祉士 吉田 啓安



便利
です

アメニティセットのご案内

9月より、入院中に必要な「寝巻・タオル類・紙おむつ・日用品」の取り扱いについて、アメニティセット(レンタルシステム)を導入いたしました。

ご利用について

- 1 アメニティセットの寝巻・タオル類をご利用される方は、申し込みが必要となります。
- 2 詳しいセット内容につきましては、病院スタッフにおたずねください。
- 3 お支払い方法については、医療費のご請求書とは別に(株)アメニティより郵送いたします。

患者様・ご家族様からのご意見をいただき、より充実した内容にしていきたいと考えています。

以下のような、セットが準備されています



看護課 外来 鈴木 ゆみ



MRI更新のお知らせ



第1報



10月23日(金)より、最新MRI導入のため、装置入れ替え工事が始まります。期間は約2カ月を予定しております。その間、MRI検査ができなくなり、患者様には大変ご迷惑をおかけしますが、検査ができない期間は、MRIを所有する近隣病院と連携をとり、対応しております。また、当院へMRI検査をご依頼くださっている医療機関様にも、検査の受け入れを制限させていただいております。

新MRIでは、最新の検査が可能になることはもち

ろんのこと、検査時間の短縮や、MRIの特徴である不快感を減少する機能があるなど、検査を受けられる患者様にも優しい装置となっております。

新MRIの本格的な運用は来年初めを予定しております。今後も、更新に伴う作業内容は「あゆみ」にて随時お知らせいたしますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

放射線科 中村 好

秋の転倒予防教室を開催しました

リハビリテーション科では地域の方々などを対象に年に2回の転倒予防教室を開催して、地域の皆様の健康増進に少しでも貢献できるよう取り組んでおります。今年第1回を6月に、そして第2回を10月17日に実施しました。今年「二重課題」というキーワードに着目して「日常生活は二重課題の連続であり、頭で考えながら体を動かす事が転倒予防につながる」というテーマで体操を行いました。今回も参加された方の笑い声が響く和やかな雰囲気での転倒予防教室となりました。これからも筋力トレーニングやマシントレーニング、バランストレーニングなど様々な分野での体操を企画予定ですので皆様の参加をお待ちしております。



理学療法士 高見 奈津子



栄養管理室では、患者さんに行事食を提供しています。

今月は、敬老の日・秋分の日に提供した食事を紹介します。栄養管理室では、「安心・安全」な食事に心がけて、栄養管理と調理を行っております。

敬老の日



栗入り赤飯・お刺身・菊入お浸し・ワカメの酢の物・紅白つるのこ

秋分の日



菜飯・切り昆布と油揚げの煮物・白菜の胡桃和え・おはぎ・生麩入りすまし汁

編集
後記

金木犀の香りが運んでくる御はやしの音で迎える二本松の10月の暦ですが、今年は金木犀が2週間ほど先に香りを運んだようでした。これが今年の朧だかにどう影響しているのでしょうか？私達は食卓にのぼる銀シャリを今か今かと待つばかりです。食欲の秋本番を迎えている今日、この頃です。

K.K記

